

第1期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
外国語	
科目名	日本語

I 次の文章を読み、設問に答えよ。解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるよう記すこと。

薪を背負って歩きながら読書する少年 ——かつてはどこの小学校の校庭にも立っていた二宮金次郎のその姿は、今もある程度の年齢の多くの人びとの眼底に残っているだろう。しかしこの像が伝えようとした勤勉、克己、節儉などの徳目は、その像が学校から取り払われていくとともに、今日の日本ではすでに片隅にしまいこまれてほこりをかぶり、忘れ去られているかのようだ。金次郎（尊徳）の像が、近代日本の国策とあまりに一体化して普及した、いや、普及させられたことは事実で、そういったことへの反発もあるかもしれない。

しかし、それは金次郎の罪でないことも自明の理だ。

二宮尊徳は、たしかに読書によって学習したが、なによりも観察と実践から多くのものを学んだ人だった。

ひとつのエピソードがある。

天保年間（一八三〇～一八四四）といえば、ことに①飢饉が厳しかったときだ。ある年、気候不順であったが、土用に新茄子を糠味噌に漬けて食べたところ、夏のさかりにもかかわらず秋茄子の味がした。尊徳はただちに周囲の人びとに飢饉の備えをさせるだけでなく、各地に手紙を出し、空き地や木綿畑に②蕎麦、大根、粟、稗、大豆など食料になるものはなんでも植えさせた。木綿畑を転用することなどにはずいぶん苦情や反対があったが、自ら村々を回って説得にも当たった。はたして秋がきても日照が不足し、大飢饉になったが、③尊徳の言を信じて備えをした地域は飢えを免れた、というのである。天地を經文とし、つねに自然を誠実に、注意深く見守った尊徳の先を読む前知と果敢な④実践がこの挿話から見て取れる。

②『中庸』に「至誠の道、以て前知すべし」とあり、尊徳もしばしば「至誠」に言及し

ているが、その「至誠」とは、机上の論ではなかった。

尊徳の生家は、小田原市の北郊に復元・保存されている。彼の幼時にはかなり豊かだったその家は、古い農家の例にもれず、内部が薄暗くはあるが、簡素で力強い建物だ。壮年の尊徳は、けなげな少年のイメージとは違い、六尺、二十四貫（約百八十センチ、約九十キロ）ほどもある巨漢だったという。江戸時代の基準からすると、力士なみの体軀だ。こどものころからのたゆまぬ労働で鍛えられたそのからだは、筋骨の塊だったにちがいない。わたしは、この家の黒光りする太い柱や梁に、幕末の関東の野をたくましく、厳しく、そしてやさしく生き抜いた尊徳その人の⑤風格を見る思いがした。

生家の近くには富士と丹沢の水を集めて足柄平野を貫流する酒匂川が流れている。この川は、かつては洪水によってしばしば周辺の田畑を破壊し、幼い日

の金次郎一家が離散する原因をも作った。しかし金次郎はその川のほとりの荒蕪地を耕し、土手に作物を植えることによって、後年の農村②振興の方策をみずから学んだ。

③関東各地の貧窮した寒村に努力を集中し、その成功モデルを周辺に、あるいは地域を越えて及ぼそうとした尊徳の方法は、地域振興や行政を考えるとき、今なお多くの教訓を含んでいる。

④恵みと破壊とをもたらす天地自然のなかで、人はいかに人道を立てて生きるか、尊徳一生を貫くテーマが、酒匂川にその原点があったことは興味ぶかい。

(細川護熙『ことばを旅する』)

問 1. 二重線部②から④の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

問 2. 傍線部①「尊徳の言」とは具体的に何を指しているのか。問題文に即して記せ。

問 3. 傍線部②『中庸』は四書のうちの一書である。他の三書の名称を記せ。『』は不要。

問 4. 傍線部③「関東各地の貧窮した寒村に努力を集中し、その成功モデルを周辺に、あるいは地域を越えて及ぼそうとした尊徳の方法は、地域振興や行政を考えると、今なお多くの教訓を含んでいる。」にもあるように、二宮尊徳の方法は現在でも教訓を含んでいると筆者は考えている。それでは近代日本の国策において、二宮尊徳の方法はどのように評価されていたのか。問題文に即して記せ。

問 5. 傍線部④「恵みと破壊とをもたらす天地自然」について、それらの例をあなた自身の考えによって述べよ。ただし、「恵」と「破壊」とで分けて述べ、さらに「破壊」についてはその対策方法にも言及し、全文にわたって「恵、破壊、天地自然、対策方法」という語句も必ず使い、300字以上400字以内で記せ。300字に満たないものは0点とする。

Ⅱ 次の文章を読み、設問に答えよ。解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるよう記すこと。

①なるべく生きものは飼わないようにしよう、というのが私の方針なのであるけれど、子どもが生まれて少しずつ知恵がついてくると、いろいろ飼いたがるからどうもその方針が守り切れない。

生きものがあると旅行がしにくくなるし、病気になったり死んだりすると不憫だから、というのがその、生きものを飼うことを避ける理由であったのだけれど、考えてみれば、子どもをつくった時点でその方針は突き崩されたようなものである。

東京都の何かの催しで、子どもがビニール袋に入れた金魚を十二匹も、タダでもらってきた。どっかに①水槽があったなあ、と探し出してきて、その中に水を張って放す。何しろ数が多いから水面近くでアップ、アップして苦しそうである。仕方がないから近所のペット・ショップに行き、ブクブク泡の出るポンプを買ってきた。

それでもう、家の中に物が増えてしまう。やれやれと思いながらとりつけると、金魚の動きが②断然違ってきた。非常に活発である。どれもこれも黒っぽい和金で、「クズ金魚」などと呼ばれている奴なのであろうけれど、③こうやって水の中をビュンビュン泳いでいるところを見ていると飽きない。

昔はガラスの丸い金魚鉢で、上部に青とか赤の色がつき、へろへろと曲げて飾りのようにしてあったけれど、あんなせまい中に、金魚のみならずドジョウ、フナ、オタマジャクシまで入れて④殺生な飼い方をしたものだなどと考える。

こういうポンプがあるのなら、もっと大型の水槽を買ってきて、枕元に据え、タナゴとか、ネオンテトラとか、綺麗で小さな、そして安い魚を百匹ぐらい飼って群をなして泳ぐところを寝ながら眺めていたら楽しいだろうとか、水棲の昆虫やら貝やら小さな魚やら水草やらを育てて、昔どこにでもあった池や沼の中の⑤情景を再現したら、などと危険なことを空想しだした。そんな水槽が家の中にいくつもあつたら、それこそ大変なことになる。

私の友人に虫や魚の好きな凝り性の男がいて、南米産ナマズの⑥珍種を集めるために⑦家計を傾けているけれど、水槽の重みのために、家の床も傾いてしまったそうである。

ウチの駄金どもはどんどん大きくなり、黒かったのがみんなうすい赤に変わってしまった。ますます平凡である。

「ずいぶん大きくなってね」

と、ナマズ好きの男に話したら、「くれない?」という。「君がまた何でこんな駄金を?」と訊くと、「ナマズの餌にする」と答えた。とんでもないことをいうと思って顔を見た。

(奥本大三郎『千支セトラ、etc.』)

問 1. 二重線部④から⑥の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

問 2. 傍線部①「なるべく生きものは飼わないようにしましょう、というのが私の方針なのである」について、その理由を問題文に即して記せ。

問 3. 傍線部②「こうやって水の中をビュンビュン泳いでいるところを見ると飽きない。」というのは、筆者の現在の心情である。そればかりでなく、大型の水槽を買ってやりたいことまで空想しているが、その内容について、原文に即して記せ。

問 4. 傍線部③「家計を傾けている」とはどういうことか。わかりやすく説明せよ。

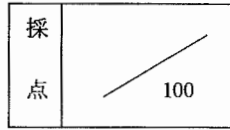
問 5. 金魚を飼うことについて、あなた自身の考えを述べよ。ただし、文中に見える子どものために水槽やポンプを用意した人と、その友人で虫や魚の好きな凝り性の男性について必ず言及し、「金魚、飼い方、水槽、子ども、凝り性」という語句も必ず用い、300字以上400字以内で記せ。300字に満たないものは0点とする。

愛知大学大学院 入学試験 <中国研究科>

受験番号

修士課程

中国研究科	<一般・外国人留学生入試>
外国語	
科目名	日本語



(試験時間 80分)

I 解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるよう記すこと。

問1. 二重線部㉔から㉖の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

- ㉔飢饉 () ㉕蕎麦 () ㉖実践 ()
- ㉗風格 () ㉘振興 ()

問2. 傍線部①「尊徳の言」とは具体的に何を指しているのか。問題文に即して記せ。

問3. 傍線部②『中庸』は四書のうちの一書である。他の三書の名称を記せ。『』は不要。

- () () ()

問4. 傍線部③「関東各地の貧窮した寒村に努力を集中し、その成功モデルを周辺に、あるいは地域を越えて及ぼそうとした尊徳の方法は、地域振興や行政を考えると、今なお多くの教訓を含んでいる。」にもあるように、二宮尊徳の方法は現在でも教訓を含んでいると筆者は考えている。それは近代日本の国策において、二宮尊徳の方法はどのように評価されていたのか。問題文に即して記せ。

↑ 問4は上の線まで解答欄

問5の解答欄は裏面

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	
入試方式	一般・外国人留学生入学試験
科目名	日本語
試験実施日	2024年8月6日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

外国語の試験で日本語を選択できるのは「愛知大学大学院 学生募集要項」で「外国語試験の特例」に記されている場合である。実際の受験生は中国人留学生が大部分である。外国人も修士論文は日本語で執筆するので、日本語の運用能力が高いことが望ましい。その運用能力を測る問題を出題している。以上は大問Ⅰ・Ⅱともに共通している。

Ⅰ 問題文は日本史上の人物(二宮尊徳)に関するもので、ことばのみならず文化についても問う設問を含む。

問1. 漢字を日本語で正確に読めるか否かを問う問題である。

[解答] ㉑ききん ㉒そば ㉓じっせん ㉔ふうかく ㉕しんこう

問2. [解答例と出題意図] 二宮尊徳は夏のさかりに秋の飢饉を予想したので、人々に勧めたことがある。具体的には問題文中の「尊徳はただちに周囲の人びとに飢饉の備えをさせるだけでなく、各地に手紙を出し、空き地や木綿畑に蕎麦、大根、粟、稗、大豆など食料になるものはなんでも植えさせた。」等を適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問3. 文化に関する常識を問う問題である。

[解答] 論語 孟子 大学

問4. [解答例と出題意図] 問題文中の最初の段落から「勤勉、克己、節儉などの徳目」、「近代日本の国策」等の字句を適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問5. [解答例と出題意図] 小論文に相当する問題である。設問に対して適切に答えた内容が望まれる。以下の点も採点のポイントである。日本語として意味の通る文章であるのか。日本の常用漢字を正しく記しているのか。指定された語句を用いているのか。字数を守っているのか。

Ⅱ 問題文は生き物を家庭で飼育することに関するエッセイである。

問1. 漢字を日本語で正確に読めるか否かを問う問題である。

[解答] ㉑すいそう ㉒だんぜん ㉓せっしょう ㉔じょうけい ㉕ちんしゅ

問2. [解答例と出題意図] 問題文中の「生きものがあると旅行がしにくくなるし、病気になったり死んだりすると不憫だから」等を適宜引用して、日本語として意味の通

る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問3. [解答例と出題意図] 問題文中の「こういうポンプがあるのなら、もっと大型の水槽を買ってきて」で始まる段落から適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問4. [解答例] 生活費から虫や魚の飼育のために多額の出費をしている。(これは解答例で、同様の内容が書いてあり、日本語としての的確な文章であれば良い。)

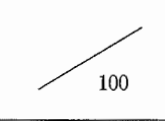
問5. [出題意図] 小論文に相当する問題である。設問に対して適切に答えた内容が望まれる。以下の点も採点のポイントである。日本語として意味の通る文章であるのか。日本の常用漢字を正しく記しているのか。指定された語句を用いているのか。字数を守っているのか。

愛知大学大学院 入学試験 <中国研究科>

受験番号

修士課程

中国研究科	<一般・外国人留学生入試>
外国語	
科目名	日本語

採 点	
--------	---

(試験時間 80分)

II 解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるよう記すこと。

問1. 二重線部㉑から㉒の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

㉑水槽 () ㉒断然 () ㉓殺生 ()

㉔情景 () ㉕珍種 ()

問2. 傍線部㉑「なるべく生きものは飼わないようにしよう、というのが私の方針なのである」について、その理由を問題文に即して記せ。

問3. 傍線部㉒「こうやって水の中をビュンビュン泳いでいるところを見ていると飽きない。」というのは、筆者の現在の心情である。そればかりでなく、大型の水槽を買ってやりたいことまで空想しているが、その内容について、原文に即して記せ。

問4. 傍線部㉓「家計を傾けている」とはどういうことか。わかりやすく説明せよ。

↑ 問4は上の線まで解答欄

問5の解答欄は裏面

第 1 期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
外国語	
科目名	英語

以下の文章を日本語に翻訳せよ。解答に際しては、それぞれの段落の冒頭に対応する英文の節の番号を付すこと。

Kissinger Was Right About China, and He Still Is

By David Daokui Li, a

professor of economics at Tsinghua University.

1. In the cold winter of 1972, a schoolteacher in a poor Chinese village asked his whole class: "The U.S. president, Nixon, and his adviser Dr. Kissinger will be in China. What should we do?" Then 8 years old, I was a good student and had just finished my homework — writing down 50 times in Chinese characters the omnipresent political slogan "Down with the American imperialists! Down with the Soviet revisionists! Long live Chairman Mao!" So I quickly popped up with an answer: "Arrest them, because they are our enemies."

2. Within a few years, I realized how wrong I had been. The American outreach crafted by Henry Kissinger helped catalyze decades of complex political changes in China, leading to an era of reform and opening that eventually lifted 800 million people out of poverty and opened the eyes and minds of even more people.

3. All of that greatly affected my life, along with the lives of millions of other young students. Five years after Mr. Kissinger's visit, China reopened colleges after being effectively closed for a decade. Through hard work and good luck, I was able to enter college and later went to the United States to obtain my Ph.D. from the same university where Mr. Kissinger received his. What a magical change for a schoolboy who had just been copying down party propaganda. The simple lesson I learned that day? Don't be tricked by political slogans.

4. I can think of no other political figure or thought leader today who helped to initiate as monumental a positive impact on a foreign country as Mr. Kissinger. Although his death at the age of 100 last week has triggered polarized reactions in America, it has aroused overwhelmingly warm sentiments in China's normally harsh internet space. Grateful articles by private citizens in his memory have gone viral. As the debate rages on over his legacy, I believe one thing is indisputable: Mr. Kissinger was right about China.

5. There are three important lessons to be gleaned from Mr. Kissinger's approach to China. First, China is not a great threat to the United States. China simply does not appear to have the global ambition, institutional capacity, historical tradition or ideological clarity to replace and behave like the United States of today. Its geographical position doesn't help. During the Toronto debate, Mr. Kissinger said rhetorically: Look at a map of the world. China is bordered by 14 countries. How many of them can China count on as stalwart friends? How much energy does China have left to spend on managing global affairs after coping with its neighbors? The United States, by contrast, has only two.

6. Second, no one can change China from the outside. Its size and history make this impossible. You may work with China and help its leaders initiate domestic changes, but you can never change it from the outside. Mr. Kissinger argued repeatedly, including in his book "On China," that China has thousands of years of history of sophisticated political institutions that continue to exist today. It is impossible and counterproductive to push China to change unless the forces of change come from inside. In fact, as early as the late 1960s, Chairman Mao had already begun thinking about allying with the United States to better resist the growing ambitions of the Soviet Union. Had Mao not made up his mind to work with Washington, Mr. Kissinger could never have made his historic trip to China in 1971.

7. Third, the United States must treat China as an equal partner to resolve global challenges, including nuclear nonproliferation, climate change, proper governance of artificial intelligence and sustainable development. This point is more relevant today than ever: China is now the world's largest producer of solar panels and windmills, a global leader in artificial intelligence research and the only nation operating its own crewed space station.

8. In recent years, many American political leaders have begun to disagree with Mr. Kissinger's approach, especially the first one. As a result, U.S. foreign policy has become increasingly hawkish toward China. This is very unfortunate. Yes, China has become more powerful and gained more international influence. But Beijing does not participate in any international military conflict. To my knowledge, China has not trained any top foreign officials in the Chinese Communist Party's Central Party School and has no plan to change in this regard. Continuing to treat China as a growing threat is a major diversion of U.S. political energy, to say the least.

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

9. Mr. Kissinger was a refugee of the Nazi regime and unquestionably loyal to the United States. His strategies served American interests: The United States won the Cold War and enjoyed the peace dividend with years of economic prosperity. Of course, China, too, has risen fast, but just because China has done well does not mean that the United States is losing. Don't blame Mr. Kissinger's China strategy for America's domestic problems today. Just focus on solving them.

December 10, 2023, New York Times

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	○修士課程 / 博士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	
入試方式	一般・外国人留学生
科目名	英語
	2024年8月6日
解答又は解答例及び出題意図 (試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)	
<p>【出題意図】</p> <p>本問は中国の大学教授がニューヨークタイムズに寄稿した記事である。つまり、米国の視点からなされた中国に関する論評ではなく、中国の視点から見た米中関係を米国に留学した経験を持つ中国人が米国に向けて発信した文章であり、英語圏の読者にとって分かりやすい形で書かれており、英語としても難しいものではない。しかも、米中国交正常化の立役者の一人であるキッシンジャーへの言及から始まり、米中関係の経緯について言及した文章であることから、中国研究科を受験する学生にとって、親しみがあり分かりやすい内容である。また英語で受験する学生が取り組む可能性が高い中国に関する国際関係にも直接結びついている。こうした特徴を踏まえて出題したものである。なお分量の関係から一部を省略した。</p> <p>【解答例（採点時の観点）】</p> <p>模範解答は省略する。採点に際しては、文意をどの程度読み取れているかを重視した。</p>	

第1期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国国際関係

以下3つの設問に答えなさい。回答する順番は問わないが、冒頭に設問番号を明記すること。なお、必要に応じて裏面も使用してよい。

Q.1 中華人民共和国政府は、1955年にインドネシア・バンドンで開催された「アジア＝アフリカ会議」について、公正で合理的な国際政治経済新秩序を形成するうえで、重要な基盤を築いたと評価する。この会議への参加は、中国の対外関係にとってどのような意味をもつか、解説しなさい。なお、「平和共存五原則」「日本」「社会主義諸国」の語句をすべて使用すること。

Q.2 「非伝統的安全保障」(Non-traditional Security)とはどのような概念か、「伝統的安全保障」と対比して解説しなさい。

Q.3 国際連合創設60周年を記念する2005年世界サミットにおいて、中国の胡錦濤国家主席(当時)は「和諧世界」の構築を提唱した。「和諧」論を提唱した国内外の状況、要因について論じなさい。

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	中国研究専攻
入試方式	一般・外国人留学生
科目名	中国国際関係
試験実施日	2024年8月6日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

今回の試験では大問3問を課した。1問目は、現代中国の対外関係や関連諸分野、特にアジア・アフリカ諸国との関係に関する基礎知識があるかを確認するために、その起点である「アジア＝アフリカ会議」を取り上げた。3つのキーワードを盛り込んで事象解説させることで、各項目の関係性に対する認識も問う形式とした。

2問目は、国際関係論においても比較的新しい事象と理論について、的確な理解と柔軟な考察ができているかを確認するために、「安全保障」概念を取り上げた。冷戦末期以降の時間軸をもった概念に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的に論述することができるかを問う形式とした。

第3問は、中国の世界認識という比較的汎用性の高いトピックについて、特に政策決定過程での国際と内政の状況に関連づけ、そして指導者の役割をいかに位置づけるのか、先行研究に基づく論述を問う形式とした。

【解答例（採点時の観点）】

論述の仕方は多様であり考察を制約することを避けるため、採点時の観点を解説する。1問目は、アジアを中心とする国際関係の現代史に関する基本事項を理解し、それへの能動的解釈、観点が提示されているかについて、特に多様な主体性がかかわる事象に対する、固有のナショナリズムを超えた解釈、視点を評価した。

2問目は、冷戦終結にむかう世界潮流を分析するために必要となる国際関係論あるいは関連分野の理論や概念が提示されているかについて、特にイデオロギー対立の終焉というメインテーマとともに、安全保障論の重要概念と分析枠組みについて解説されているかを評価した。

3問目は、中国外交論に関する概念、理論をもとに、それが提起された社会状況が適切に分析されているかについて、特に「台頭する中国」という国際的文脈と関連づけた解説を評価した。

第1期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国社会学

1. 中国において階層間や都市と農村の教育格差が顕著になっている。この教育格差の実態と教育格差が拡大した要因、及びそれを改善するための対策について、述べなさい。

2. 以下の用語について解説しなさい。

- ① エスニシティ
- ② 文化的再生産
- ③ 生得的地位と獲得的地位

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	中国専攻
入試方式	一般・外国人留学生
科目名	中国社会学
試験実施日	2024年8月6日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

修士課程については、大問を2問とした。第1問は、社会学的事象に対して多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめる力を確認することを目的とし、中国の社会問題に関する比較的汎用性の高いトピックについて論述させる形式とした。第2問は、社会学および関連諸分野に関する基礎知識の有無を確認するため、基本用語3つについて説明させる形式とした。

問1 【解答例（採点時の観点）】

中国の教育格差の実態や構造的要因を分析し、対策について自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。

- ① 教育格差の「実態」を具体的に説明しているか
抽象論にとどまらず、格差の具体像を示しているかが評価ポイント
- ② 教育格差が拡大した「要因」を構造的に説明しているか
個人努力ではなく、制度・構造的要因として説明できているかが重要
- ③ 改善策・対策を現実的かつ政策的に提示しているか
問題点に対応した「因果関係のある対策」になっているかが評価対象

問2 解答例

用語の説明は複数ありうるため、以下に示したのは1例である。

- ① エスニシティ
エスニシティとは、民族的起源、言語、宗教、文化などの共通性に基づいて形成される集団的アイデンティティであり、生物学的な人種とは異なる社会的・文化的概念である。社会的排除や差別、または集団の連帯に関わる。
- ② 文化的再生産
文化的再生産とは、家庭や学校を通じて文化資本が世代間で継承され、教育制度を媒介として社会的地位や格差が再生産される過程を指す。
- ③ 生得的地位と獲得的地位
生得的地位とは性別や出身階層など生まれながらに与えられる地位であり、獲得的地位とは教育や職業など個人の努力によって得られる地位である。現代社会では両者が相互に影響している。

第1期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国文学（古典・現代）

以下の設問に答えなさい。回答する順番は問わないが、冒頭に設問番号を明記すること。
なお、必要に応じて裏面を使用してもよい。

1. 錢鍾書における「現代西学」の受容について、彼の具体的な著作をあげながら論じなさい。

2. 下記の設問の中から一つを選び論じなさい。
 - (一) 中国当代の「新東北文学」の特色（所謂「当代東北叙事」）について、その代表的な作家を二人ぐらいあげて論じなさい。

 - (二) 近年中国学术界における比較文学研究の現状について論じなさい。

入学年度および実施時期	2025年度 第1期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	中国研究専攻
入試方式	一般・外国人留学生
科目名	中国文学（古典・現代）
試験実施日	2024年8月6日

解答又は解答例及び出題意図
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

【出題意図】

出願者が研究対象とするテーマについて基礎知識を備えているかを確認するために、2つの設問を用意した。いずれも基本的な事柄について説明する形式とした。

【解答例（採点時の観点）】

問1は、銭鍾書における「現代西学」の受容について、彼の具体的な著作をあげながら説明するものである。銭鍾書（1910-1998）は学者でありながら小説家でもあった。彼の著作は、学術方面では『談芸録』『管錐編』のほか、小説では長編小説『围城』が代表的である。彼は「東洋も西洋もその心のありようは同じ」という考え方により、中国と西欧の共通する詩の精神・文学の精神を明らかにすることで、分野を超越し、人類の普遍的な文化現象に共通する規律性の存在を追求した。銭鍾書についての先行研究をどれぐらい把握しているのかが採点時の観点となる。

問2では、どちらかの設問を選択して解答する形式とした。

一つは、中国当代の「新東北文学」の特色について、代表的な作家を二人ぐらいあげて論じるものである。近年、中国だけでなく日本でも相当注目されている新しい研究対象について、どれぐらい認識しているのかを確認するために出題した。新しい東北作家群とは、双雪涛、班宇、鄭執をはじめとする1970年から80年代生まれの中国東北地方出身の作家らによる文学流派である。東北地方はかつて工業化が進み、国有企業が経済を牽引する地域だったが、1990年代の国有企業解体により、彼らの親世代はまさにレイオフを経験した世代である。そのため、彼らの作品は20世紀末の中国東北地方を舞台に、社会・経済の衰退によってもたらされた労働者階級の郷愁をユーモアな筆致で描く新たなリズムが特徴である。その点についての説明がなされているのかが採点時の観点となる。

いま一つは、近年中国学術界における比較文学研究の現状について論じるものである。中国学術界において比較文学研究は重要な位置を占める。中国の比較文学研究は、1904年に王国維が『紅樓夢評論』において、ショーペンハウアーの悲劇理論を使用して紅樓夢を分析したことにはじまるが、1949年から1979年は政治の干渉によって学問としての比較文学研究は否定された。1979年の改革開放政策実施以降、中国本土の比較文学研究は復活し、1985年に中国比較文学学会が成立して以降、比較文学の研究者は増加し、世界的レベルにまで達した。西洋の比較文学理論を応用するだけでなく、中国独自の文学的・文化的背景に基づいた理論体系の構築がなされている。このような中国における比較文学研究の発展について把握しているのかが採点時の観点となる。